

2022 年度 事業報告書 (2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日)

特定非営利活動法人 Hope Tree

1 活動の目的

この法人は、がんの親をもつ子どもがより健康的に親ががんという状況に対処していく能力を高めるため、支援する医療者等の育成・指導を行い、あわせて親と子どもへの支援及び支援の重要性を広く普及啓発することで、がんの患者さんと家族がより不安少なく過ごせることに寄与することを目的とする。

対象者	アクティビティ (事業活動)	アウトプット (活動の結果)	アウトカム (活動の成果)	インパクト (社会の変化)
医療者	医療者等に対する育成及び指導	講座開催回数 講座受講者数 受講者の知識向上 受講者の意識変化	臨床現場での患者・家族への効果的な介入 サポートプログラムによる子どもの支援	がんの患者さんと家族がより不安少なく過ごせる社会の実現
がん患者とその家族	がんの患者・家族に対する支援	プログラム開催回数 プログラム参加者数 参加者の意識変化 (不安低減など)	病気・治療の知識習得 患者・家族 QOL 向上 家族間の良好な関係	
不特定多数の市民	普及啓発 情報発信	イベント参加者数 ウェブサイト訪問数 小冊子読者数 動画視聴者数等	がん患者やその子どもへの理解醸成・向上 教育現場や地域コミュニティ等での子どもへの関わり方の変化	

2 2022 年度事業の成果

「医療者等に対する育成及び指導に関する事業」は、前年同様コロナ禍により対面開催時の規模縮小やオンライン開催など引き続き制約下での活動となった。「がんの患者・家族に対しての支援事業」は Hope Tree としてはコロナ禍で開催を見送りとしたが、オンライン版 CLIMB®の運営方法を米国より学び、CLIMB®を開催する全国の医療関係者へそのノウハウを届けた。

「普及啓発事業」はウェブサイトの年間ページビューが約 18 万、小冊子の送付は約 3,800 冊など情報を必要とする多くの方へ届けることができた。

加えて、これまでの地道な活動の功績が認められ、令和 4 年度教科書「現代高校保健体育」(大修館)の中で「がんとともに生きる人々を支える取り組み」として当団体活動が紹介され、また、公益財団法人日本対がん協会より 2022 年度「日本対がん協会賞 (団体の部)」の表彰を受けた。

3 2022年度の事業概要

定款で定める事業	個別事業	対象者	状況	費用額
① 医療者等に対する育成及び指導に関する事業	CLIMB® (クライム) ファシリテーター養成講座	医療関係者	実施	2,469,186 円
	CLIMB® (クライム) 親グループファシリテーター養成講座開催	(医師・看護師・心理職・ソーシャルワーカー・CLS・HPS 等)	実施	
	子どもをもつがん患者を支える実践ワークショップ		実施	
	子どもをもつ終末期がん患者・家族への支援“バタフライ・プログラム”を学ぶワークショップ		実施	
	Hope Tree セミナー		実施	
	オンラインケースカンファレンス (AYA ウィーク関連企画)		実施	
② がんの患者・家族に対する支援事業	CLIMB® (クライム) 事業		がんの親とその配偶者、子ども	未実施
	体験版 CLIMB® (クライム) 事業	未実施		
③ がんの患者とその子どもの支援に関する普及啓発事業	Hope Tree フォーラム	不特定多数の一般市民	実施	590,406 円
	ホームページや動画での情報発信		実施	
	小冊子による情報発信		実施	
④ その他この法人の目的を達成するために必要な事業	緩和医療学会 交流集会・発表	医療関係者	実施	0 円
	『がん情報サービス』サイト掲載内容の査読・助言	がん患者・患者家族・支援者等	実施	
	日本病院薬剤師会雑誌への寄稿	医療関係者 (薬剤師)	実施	
(事業費合計)				3,059,592 円

個別事業の詳細（内容・日時・場所・従事者人員・対象者など）は次頁以降を参照ください。

プログラムや職種の略称用語は下記の通り。

CLIMB : *Children's Lives Include Moment of Bravery* (子どもはいざという時、勇気を示します) の略、アメリカで広く用いられている、がんの親を持つ子どものための構造化されたサポートグループのプログラム

CLS : *Child Life Specialist* の略、医療環境にある子どもや家族に心理社会的支援を提供する専門職

HPS : *Hospital Play Specialist* の略、遊びを用いて医療環境をチャイルドフレリーなものにし、病児や障害児が医療とのかかわり経験を肯定的に捉えるようにするため、小児医療チーム一員として働く専門職

4 各事業の活動詳細

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 医療者等に対する育成及び指導に関する事業

CLIMB® (クライム) ファシリテーター養成講座開催

内容	自施設で CLIMB®開催を希望する医療者を対象とした 2 日間ワークショップ。子どもの発達段階の理論を踏まえたプログラム(親のがんにまつわる気持ちを話し合いや工作を通して表出し、自分一人ではないと感じることで孤立感を軽減することを目指す)を学び、実際にグループで 6 回セッションを経験、自施設でも開催できるように養成する。		
日時	2022 年 5 月 7 日～8 日		
場所	東京・御茶ノ水ソラシティ		
対象者	医療者等 22 人	従事者人員	6 人

CLIMB® (クライム) 親グループファシリテーター養成講座開催

内容	CLIMB®親グループは、がんである親自身が、子どもと向き合うことができるようになることを目的としたプログラムである。親グループファシリテーター養成講座では、親に対してこのプログラムを自施設で開催できるように養成する。 2021 年度に初めて開催した親グループファシリテーター養成講座 (2 日間) は、当年度はオンラインに切り替えて 1 日で開催した。		
日時	2022 年 11 月 1 日～11 月 13 日 (課題事前学習期間を含む)		
場所	オンライン (配信は渋谷ソラスタより実施)		
対象者	医療者等 30 人	従事者人員	6 人

子どもをもつがん患者を支える実践ワークショップ開催

内容	このワークショップでは、未成年の子どもを持つがん患者への具体的な支援の在り方について学ぶ。親のがん患者である子どもを支えるためには、まず親である患者の支援から始まる。患者との信頼関係の築き方、家族全体のアセスメント、子どもの年齢や病期に応じた介入について、事例検討、アクティビティを交えながら学ぶ。		
日時	2022 年 6 月 5 日		
場所	オンライン (配信はステーションコンファレンス川崎より実施)		
対象者	医療者等 47 人	従事者人員	5 人

子どもをもつ終末期がん患者・家族への支援“バタフライ・プログラム”を学ぶ WS 開催

内容	親ががん患者で死別が避けられない子どもに対する教育プログラム。 子どもを持つがん終末期患者の心理（アセスメントとアプローチ）、家族の予期悲嘆、子どもの死の理解、子どもへの介入、医療者のグリーフなどロールプレイなどを通じて学ぶワークショップを開催。		
日時	2023年2月18日～19日		
場所	東京・御茶ノ水ソラシティ		
対象者	医療者等 23人	従事者人員	6人

Hope Tree セミナー開催

内容	NPO 法人 Hope Tree セミナー2022 「子どもの育ちとトラウマケア～まわりの大人ができる心のケア～」を開催。児童精神科医 竹内伸先生（おかのうえ子ども心のクリニック）より、虐待・いじめ・事件・コロナ渦のストレスなどを抱える子どもをどう支えていけばよいか講演いただいた。		
日時	2022年7月23日		
場所	オンライン（配信は渋谷ソラスタより実施）		
対象者	医療・教育・福祉関係者 124名	従事者人員	4人

オンラインケースカンファレンス

（AYA ウィーク 2023 子育て世代の患者さんを支える医療者の集い）

内容	AYA 世代患者の中には、子育て真っ最中の方がおり、子どもを抱えながらがん治療に臨む際、多くの悩みを経験。その患者と子どもを支える配偶者も、特に患者の病状が進行してくると悩みも深化。そのような患者・家族を医療者はどのように支えるとよいのか、オンラインで集い、子育て世代の患者を支える工夫を話し合う。		
日時	2023年3月8日		
場所	オンライン		
対象者	医療者等 18人	従事者人員	4人

② がんの患者・家族に対する支援事業

CLIMB® (クライム) 事業開催 (2022年度は非開催)

内容	がんの親をもつ子どもとその親に対する心のケアを目的とするプログラム。子ども同士で不安や悲しみ等の気持ちに対処する方法について、工作をしながら話し合う。並行して、親同士で治療や日常生活の不安、子どもとの向き合い方について話し合う機会を提供する。		
日時	－ (コロナ渦のため開催を見送り)		
場所	－		
対象者	－	従事者人員	－

体験版 CLIMB® (クライム) 事業開催 (2022年度は非開催)

内容	がんの親をもつ子どもとその親(遺族も含む)に対し、体験版の CLIMB® (クライム) を開催する。		
日時	－ (コロナ渦のため開催を見送り)		
場所	－		
対象者	－	従事者人員	－

③ がんの患者とその子どもの支援に関する普及啓発事業

Hope Tree フォーラム開催

内容	NPO 法人 Hope Tree フォーラム 2022「みんな元気になあれ！～親(家族)が病気の子どもの集い～」を開催。静岡大学 教育学部教授 小林朋子先生を招き、小学生中高学年のがんの親を持つ子どもを対象にレジリエンスを高めるコツを学ぶ特別授業を実施いただいた。		
日時	2022年7月23日		
場所	御茶ノ水ソラシティ		
対象者	親が病気の子ども 7人	従事者人員	5人

ホームページや動画配信による情報発信

内容	あらゆる人を対象としたホームページの運営。患者自身が読み、治療しながら子育てするのに参考になる情報や広く社会に対する普及啓発の内容を含む。 2022年度は学会発表の「がん教育に関する当事者の意識調査」や英語論文の掲載、参考サイトの情報最新化、小冊子「やさしいがんのお話」送付受付追加などを対応。		
日時	随時		
場所	全国		
対象者	不特定多数（全国の医療機関および患者・患者家族・患者支援団体など） 訪問者数：66,015人 ページビュー数：182,747回 動画視聴回数：22,479回 ※数値はすべて2022年度（1年間）の累計数	従事者人員	3人

小冊子による情報発信

内容	3種の小冊子「子どもとがんについて話してみませんか」「がん患者の家族を支える親が病気の子どもたちの思い」「やさしいがんのお話」を希望者へ発送。 2022年度は計278先（内訳 医療機関：176法人、支援団体：12団体、個人：90人）へ小冊子を発送。1回送付は20冊までとして送料はHope Treeが負担。 冊子別の発送数は、下記対象者欄の通り。 一部冊子はホームページでPDFファイル版を公開。		
日時	随時		
場所	全国		
対象者	不特定多数（全国の医療機関および患者・患者家族・患者支援団体など） ① 「子どもとがんについて話してみませんか」 郵送数：1,841部、PDFダウンロード数：1,468回 ② 「親が病気の子どもたちの思い」 郵送数：1,284部、PDFダウンロード数：885回 ③ 「やさしいがんのお話」 郵送数：651部 ④ 「親ががんになったとき —こどものために学校にできること—」 PDFダウンロード数：317回 ※数値はすべて2022年度（1年間）の累計数	従事者人員	4人

④ その他この法人の目的を達成するために必要な事業

緩和医療学会での交流集会開催およびポスター発表

内容	第 27 回日本緩和医療学会学術大会（神戸）にて「終末期の家族支援～親を亡くす子どもに対して私たちは何ができるのだろうか」をテーマに交流集会を開催、また、ポスター発表 2 件「CLIMB®プログラム(がんの親をもつ子どものプログラム)と連動した、親のための心理社会的グループサポートプログラムについての考察」「がん教育に関する当事者の意識調査 ～子どもと親の意識の比較～」を実施。		
日時	2022 年 7 月 1 日～2 月（日本緩和医療学会学術大会）		
場所	神戸国際会議場／神戸国際展示場およびオンライン		
対象者	医療者等 220 人 (会場:90、オンライン：130)	従事者人員	4 人

日本病院薬剤師会雑誌への寄稿

内容	日本病院薬剤師会からの依頼を受けて日本病院薬剤師会雑誌（2023 年第 59 巻 1 月号）に「がん患者の子どもへのサポート」として子育て世代のがん患者とその子どもの実態、親ががんの子どもへのサポートの必要性、子どもへの病気の説明などを実施。		
日時	2022 年 9 月～10 月		
場所	—		
対象者	薬剤師 多数	従事者人員	1 人

『がん情報サービス』サイト掲載内容の査読・助言

内容	国立がん研究センターが運営する公式サイト『がん情報サービス』に掲載の「未成年の子どもがいるがんと診断された方へ：子どもとのかかわりを考えるときに」の内容につき査読および助言を実施。		
日時	2022 年 11 月～12 月		
場所	—		
対象者	患者・患者家族 多数	従事者人員	4 人

以上